

User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

一般貨物運送

丸文運輸株式会社

じっくり時間をかけて「危険予知」と取り組むのに最適。 表彰制度との組合せで社員のモチベーションがアップ

東北⇄関西の長距離輸送を柱とする丸文運輸では、増加する輸送ニーズに応えるため人材の採用・育成が課題。そんな中、ドライビングシミュレータ「ACM300」を機に新しい希望の芽が生まれているそうです。父親から同社を受け継ぎ奮闘する代表取締役 荒井雅仁氏に伺いました。

ご利用機器



PC、ステアリング、ペダル、プリンターがセットになった卓上型ドライビングシミュレータ「ACM300」

導入のねらい

中高年乗務員は機械が苦手。
だからこそじっくり経験できる環境を

荒井氏：当社では現在25名のドライバーが在籍しており、その大半が40歳代以上のベテランです。他社さんもおそらくそうだと思いますが、こうした経験豊富な社員ほど、新しい機械を使うことに抵抗を感じたり、苦手意識が強いのではないのでしょうか。

私も導入検討時にその点をまず考えました。「慣れるまでじっくり時間をかけて取り組める環境を用意したい」。本当の意味で個々の特性を把握し安全な運行に役立てるには、そこが大事だと思ったんです。また、長距離輸送という特性上、平日に社員を集めて一般診断を実施するのは難しく土日しかありません。認定機関までの距離も問題でした。

こうしたことを総合的に考え、今年2月にACM300を購入したのですが、実はその1ヶ月ほど前から社内表彰制度もスタートさせていました。安全運転をすればあなた自身にも「得」がありますよ、と。シミュレータに不慣れなゆえに最初はうまく操作できない人でも、繰り返すことで次第に慣れていきます。それは単に機器操作に慣れるということではなく、危険予知のポイントを繰り返しドライバー自身が覚え込んでいくことでもあるのです。

「ACM300」と「表彰制度」、このふたつの施策が功を奏したのか、今年に入ってから無事故記録がさらに伸び、福島県警等が主催する「優秀安全運転事業所」表彰を3年連続で受けられそうです。無事故による各種保険の割引など、経営上のコスト削減効果も期待できますね。

取材ご協力

丸文運輸株式会社

代表取締役 荒井 雅仁 様

〒961-8061

福島県西白河郡西郷村

大字小田倉字稗返151

TEL 0248-25-5555 FAX 0248-25-5562



予想外の波及効果
社員同士の微笑ましい光景。
取引先との信頼関係深化にも貢献

荒井氏：私自身驚いているのは、新人が入社した時など、社員たちの面倒見が良くなったことです。運転技術だけでなく荷下しの仕方を丁寧に教えたり、日常の雑談を見ていると「お互いに安全に気持ち良く仕事をしよう」という雰囲気が生まれてきたように感じます。また、東日本大震災での教訓を活かし、当社では交通障害発生時でもすぐに本社からサポートできるよう、デジタコをクラウド型GPS機能付のものに切り替えました。「どこにいても一人ではない」という安心感も社内の人間関係にいい影響を与えているのかもしれない。

ある時、取引先の方が突然監査で来社されたのですが、ACM300やデジタコの運用体制をご説明したところ、より深く私たちの安全に対する取り組みをご理解いただくことができました。まさに百聞は一見に如かず。具体的に見ていただけると納得の度合いが違いますね(笑)。

おかげさまで取扱量は増加しており、今後はいかに人材を確保し、育成していくかが重要だと認識しています。特に若者層の経験者は非常に少ないため、安全教育の第一歩としてACM300を今まで以上に活用していく考えです。ただ「やれ」で人が動く時代ではありませんから、設備、制度など多面的に社員をサポートする体制を整え、誇りを持って当社での業務に取り組んでもらえるよう、努力していきたいと考えています。



取材後記 20年ほど前までは和食職人だったというユニークな経歴を持つ荒井氏。後継のため入社した当初、父親からは「背中に聞きながら運転しろ」と教えられたのだとか。その真髄は「積んでいる荷物に絶えず気を配り、大切に運べ」。「安全」の核心を突く名言にも聞かされた。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。